

湧水

 議会だより

6月定例会

第27号 平成23年9月1日
発行

題字は栗野小学校6年生
藤垣 辰仁さん

第1回湧水町議会報告会

参加者319名



(長谷地区)



オニユリ

鬼百合 (ユリ科)

原野や田の畦など人里近くに生える多年草。

茎の高さは1~2m、花径は10cmぐらいで大輪の花を沢
山つける。花期7~8月

第一回議会報告会	2
一般会計補正予算等	4
陳情	7
一般質問	8
議決一覧	12
委員会の紹介	13

第1回 議会報告会

第1回湧水町議会報告会を8月8日から11日の4日間、町内16地区の公民館等において開催しました。今回初めて開催した議会報告会の目的は、議会運営状況や課題の取り組み状況等について、住民に説明を行うと共に、住民との意見交換を行うことで意志の疎通を図り、開かれた議会を目指し、議会の運営改善と政策立案に活かすことを目的に開催しました。

報告の内容は、議会の概要、平成22年度活動状況、平成23年度湧水町予算の報告を行いました。

その後、水害対策や森の館湯ったり館訴訟等をテーマに意見交換を行いました。様々なご意見・ご質問を頂きましたので、主なものを議会だよりに掲載を行い、その他当日会場でお答えできなかった質問等については、後日、各区長にご報告いたします。なお、町行政等への要望は、関係機関に文書をもって報告いたします。

議会報告に対する 主な質疑・意見

質問 議員報酬・日当制について議会としてどう考えるか
回答 議会報告会の中で、住民の意向をくみあげ、今後の検討課題とさせていただきます。

質問 議会活動における費用弁償は支給されているのか。
回答 現在支給されている他議会もあるが、本町においては旧町時代より廃止されています。

質問 合併して6年が過ぎるが、議員数について今の12名が妥当であるのか。
議員1人あたりの人口按分があるのか。

回答 合併時18人でスタートして、議員定数の見直しについて、議会で協議していく中で人口比率等も考慮して12名の定数としました。

意見 議員定数について、18人から12人へ定数減となっているが、あまりにも削減しすぎたのではないか。地域の意見も聞いた中で、定数については決めた方が良かった。

質問 議会の役割 町長との関係 議会の議決権はもつともな事だが、そのことが厳正に行われているのか疑問に思う。また、合併時お互いの町のまつりごとは尊重とあつたが、吉松最大イベント スカイフェスタが消えた。税金を均等に使うことを願う。
回答 住民にとって開かれた議会を目指し今後も努力します。

質問 陳情・要望など、議会で採択したものについて、事業として出来ていないものが相当数あるのか。
回答 議会で採択して、その後の経過について、一般質問等で行っている事項もあるが、事業実施にまだ至らないものもあります。町執行部も、緊急性等を考慮して、計画に基づき実施しているとの答弁もあります。今後においても、継続的に経過を追いながら実施に向けて働きかけをしていきます。

質問 町債は減少しているが公債費の16.2%については議会としてどのように考えるか。
回答 町債残高がある以上、必然的に元利償還金が発生します。議会としては、年度ごとの借入額が償還額を上回らないよう監視していきます。

意見 公債費をもつと減らす努力と借入金に対しては厳しくチェックしてほしい。

質問 霧島演習場関係の交付金は吉松地域だけが対象なのか。
回答 交付金の使途については制限がありますが、防災関係等町全体で使えるものもあります。

質問 医療費について、年々、経費が増加している。議会として調査などを行っているのか。
回答 医療費を抑制するには、住民の皆さんが元気であることとであり、包括支援センターで介護予防に関する色々な事業が展開されています。

議会においても、昨年、所管事務調査で、医療費抑制のための施策や福祉施策における関係機関とのネットワーク等の研修を行っています。この研修を踏まえて、今後も湧水町の福祉施策についての提言を行っていきます。



意見交換会での 主な質疑・意見

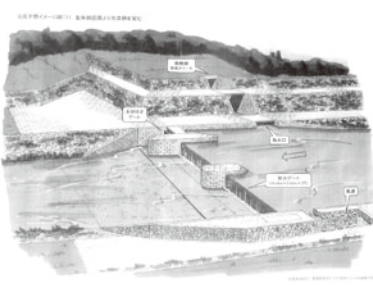
水害対策について
質問 可動堰はどこになるのか。
回答 現在の阿波井堰から上流200〜250m付近です。

質問 阿波井堰完成後の下流の流下能力拡大対策を徹底すべきではないか。
回答 阿波井堰上流の寄洲を完全に除去しておかないと、洪水の時、下流地域に流れ込み堆積し、流下能力を低下させるのではないかと。

質問 ご指摘の点は充分考慮されますので、議会としても国・県へ強く要望します。
質問 今回の井堰を計画するのに議会ではどのような論議がされたのか。
回答 河川の施設については国交省が行うもので、議会としては洪水災害のない町づくりで水害対策調査特別委員会を設置し、国や県へ要望・陳情等の働きかけを行いました。

質問 川内川の寄洲除去は、どうなっているか。
回答 寄洲除去については、

現在までも実施してきている。今後において、阿波井堰改修後も、年次的に実施すると聞いています。



意見 中山間整備事業で計画されている農道集落道、城山線は、水害時えびの市に通じる重要な迂回路として活用できる路線である。この路線の改修を早期に望みます。

森の館湯ったり館訴訟について

質問 合併協議会でこの件はわかっていたいなかったのか。旧吉松町で解決又は旧吉松の関係者で支払うなど整理してほしかった。
回答 合併後発覚した事項でありました。

質問 なぜ、今頃、報告をするのか。もう、終わったことではないか。

回答 議会だよりも、掲載していますが、その後住民から説明をしてほしいとの要望もあったことから今回報告いたしました。

意見 湯ったり館の和解案を議会が合意したことについて、使途不明金がある以上納得できない。

その他 議会に対する質疑・意見について

質問 企業誘致はどうなっているか。少子高齢化であり若者の働く場の確保が望まれるが考えているのか。

回答 議会としても、所管事務調査等で研究し、企業誘致のあり方について町に提案をしています。今後においても継続的に調査・研究してまいります。



質問 吉松駅周辺の整備について早く取り掛かってほしい。
回答 吉松地区駅前については、現在、開発推進委員会が発足されており、全体構想について、地元代表の方々と協議がなされていると聞いています。用途の見直しや事業選択等の作業が必要です。今後の吉松駅周辺のあり方について、住民の意見を集約して方向付けを行うことが必要です。

質問 昨今の少子化に伴い小中学校の統合を考えるべきである。学校がなくなれば、地域がさびれるという意見もあるが、地域によっては、学校がなくとも、活性化している。今、すぐと言うわけではなく、議員の方も、今後を見据えて、統合に向けての調査・研究を行うべきである。

回答 少子化が今後も進む中で、小中学校の統合は検討すべき重要課題のひとつであります。長期的な見解において調査・研究を行って行きます。

質問 子ども議会の開催についてどのように考えるか。
回答 一般質問でも討論されましたが、授業時間数等を関係機関と協議しながら開催に向けて取り組んでいきます。

意見 予算などについて、議会だより等で見るが、数字だけみても分かりづらいのでこの議会報告会は、詳細まで説明いただけるので、良いことである。

意見 報告会を初めてやったことは大変良いことだと思います。



意見 今回の報告会は有意義であると思いますので今後も続けて欲しいと要望します。

意見 ゴルフ場跡地・栗野工業高校跡地を生かすように考えてほしい。

意見 議員定数12人であればなおさら、専門的な委員などを兼職するのではなく、議会活動に集中してもらいたい。

意見 町営住宅について、団地型の建設よりも、少数規模の住宅を地域に建設した方がよいのではないかと。また、分譲地の売却状況等も考えながら、次を行うべきである。

意見 議会だよりが読みづらい。口語文と文語文を統一するようにしてほしい。

初めての議会報告会を終えて

議会が住民に信頼され、主体的な町づくりの実現と効率的な運営を図るには議会と町民との連携が極めて重要であります。

こうした中、開かれた議会を目指し、「議会報告会」を開催いたしました。町内一六地域の会場で三一九名のご参加をいただき、議会活動や町政に対する意見・提言、地域特有の情報や意見等、お聞かせいただきましたことは私も議員にとつて大変意義深いこととなりました。

議会に於きましては、皆さま方から賜りました貴重なご意見を、分析・精査しながら、今後の議会活動と併せ誰もが住みたくなる町づくりに向けた活動を展開して行きたいと考えております。

今回の報告会開催にあたり、各地区役員の皆様方のご協力に対して心より感謝申し上げますと共に今後とも議会に対してのご理解とご教示を賜りますようお願い申し上げます。お礼とさせていただきます。

湧水町議会議長

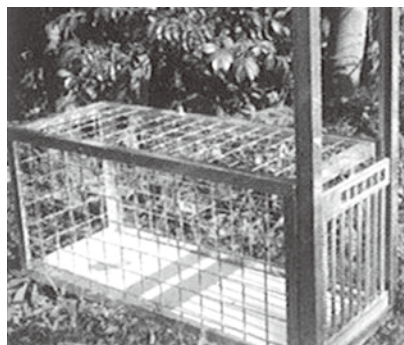
西牟田徹也

広告料

県の地域振興推進事業の採択を受け、市電、バス、新聞等で「かごしま湧水米」をPRするための広告料です。



鳥獣被害防止総合対策事業補助金



国の鳥獣被害防止総合対策事業により、中山間地域における鳥獣による農作物への被害を防止するため、箱罫、進入防止ネットを購入するための補助金です。

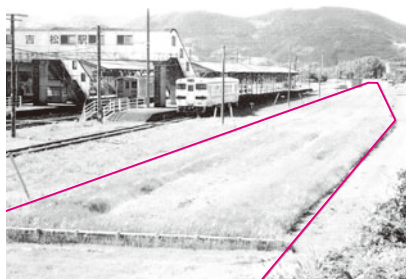
農道舗装補修工事費

農道の適正な維持管理、交通の安全を図るため、川西長谷地区農道舗装補修工事費です。



吉松駅構内花壇設置工事費

県の地域振興推進事業の採択を受け、吉松駅周辺を観光の拠点として観光客の誘致を図るため、駅構内に日本一の花壇を整備するものです。



丸池公園法面緑化工事費



県の地域振興推進事業の採択を受け、丸池公園周辺を観光の拠点として観光客の誘致を図るため、丸池公園の法面緑化工事費です。

災害対策用備品購入費

防災対策を用途目的に町に寄附がなされたことに伴い、災害時に必要となる備品として担架2台、小スペースベッド6台、発電機5台を購入するものです。



平成23年

第2回定例会

一般会計補正予算1億8,517万4千円可決



総額74億8,199万円に

第2回定例会は6月16日招集され、6月30日までの15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成22年度一般会計の繰越明許費繰越計算書1件の報告後、湧水町税条例の一部を改正する条例の制定に関する専決処分についてを承認しました。

また、財産の取得1件、財産の無償貸付2件、湧水町過疎地域自立促進計画の変更1件、条例改正1件を可決し、予算では、一般会計補正予算2件を可決しました。

陳情は2件を採択、うち1件については、議員発議でこれらに係る意見書を可決しました。

また、幸田小学校教室棟改築工事、公営第2上場団地及び公営第2幸田団地新築工事の契約に伴う、追加議案があり、可決しました。一般質問では、議員4名が6項目について質問しました。

備品購入費

要援護者の情報を整備し、災害時や緊急時に安全かつ迅速に避難させるため、その支援を行うシステム機器の購入費です。



安心子ども基金総合対策事業補助金



県の安心子ども基金総合対策事業の採択を受け、照光保育園の園舎移転工事のための補助金です。

予防接種

主治医のもとで安心して予防接種ができるよう集団接種から個別接種に変更するため、増額計上するものです。



工事請負契約の締結

〈主な概要〉

- 工事名 幸田小学校教室棟改築工事（建築本体工事）
- 工事場所 湧水町幸田地内
- 工事概要 教室棟RC造2階建（一部地階）1147㎡
- 完成予定 平成24年3月31日



幸田小学校完成イメージ図



公営団地完成イメージ図

〈主な概要〉

- 工事名 公営第2幸田団地新築工事（建築工事）
- 工事場所 湧水町幸田地内
- 工事概要 公営住宅新築工事
1棟A≒380㎡
- 完成予定 平成24年2月27日

〈主な概要〉

- 工事名 公営第2上場団地新築工事（建築工事）
- 工事場所 湧水町木場地内
- 工事概要 公営住宅新築工事
1棟A≒380㎡
- 完成予定 平成24年2月27日

今定例会において追加議案として、公営第2上場団地新築工事、公営第2幸田団地新築工事及び幸田小学校教室棟改築工事について、工事請負契約の締結をするための議案3件が提出され、原案のとおり可決しました。



私の陳情書



30人以下学級実現，義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

陳情者

湧水町川西 平谷 和文 氏

日本は，OECD（経済協力開発機構）諸国に比べて，1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには，ひとクラスの学級規模を引き下げる必要がある。また，GDP（国内総生産）に占める教育費の割合は，OECD諸国（28力国）の中で最下位となっており，さらに三位一体改革により，義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ，自治体の財政を圧迫していることから，2012年度政府の概算要求に向けて，2項目にわたる事項の実現に関する意見書を，国の関係機関に提出して頂きたいとするもの。

採 択

子どもたちが，全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され，教育水準が維持向上されるよう施策を講じる必要があり，陳情の主旨は理解できる。

※採択により，内閣総理大臣，総務大臣，文部科学大臣，財務大臣，内閣官房長官へ意見書を提出。

町道八所線の改修に関する陳情書

陳情者

湧水町川添永野自治会長 永野 敏明 氏
湧水町川添八所自治会長 平山 幸光 氏
湧水町川添上矢立自治会長 高橋 辰巳 氏
湧水町川添矢立自治会長 下園 勝也 氏

町道八所線は地域住民の生活道路としての機能はもちろん，木原牧場並びに上床牧場に通じる産業道路としての性格と観光地への入り口としての性格もあわせ持つ路線である。近年当路線の荒廃が進み，路面の凹凸や降雨時に路面水が民有地に浸入するなど支障が生じている。また比較的交通量も多く，安全確保のうえからも早期に改修をして頂きたいとするもの。

採 択

現地調査を行い陳情書の内容を検討した結果，比較的
交通量も多く陳情の主旨も理解できる。

を問う

ここが聞きたい!



福島 勝男 議員

過去の調査結果を踏まえ、検討します 小水力発電の実現可能性調査について

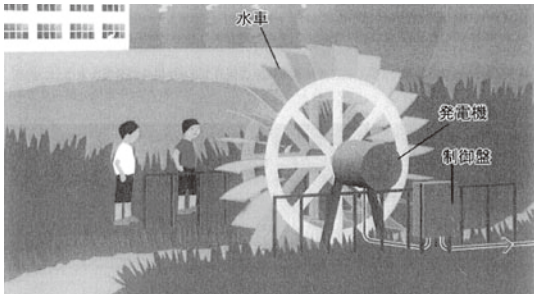
福島 東日本大震災による福島第1原子力発電所の放射性物質の流出、拡散は、深刻な事態であり、世界中がその処理と対応を見守る一方、原発依存のエネルギー政策の見直しが始まっている。日本では法により、小水力発電が新エネルギーとして位置づけられる。

ており、国や自治体、企業・農業団体等が全国各地で推進に力を入れている。我が湧水町も豊富な湧水を活用した小水力発電の実現可能性調査を実施し将来の実現に備えるべきと思うが町長の見解を伺う。

町長 現段階で小水力発電の事業構想はありませんが将来を見据えたとき、調査は必要と考えますので、補助事業等を精査しながら検討いたします。旧栗野町時代に滝・用水路等において調査をした経緯があり、これらの調査結果を踏まえ関係機関と協議をしながら検討いたします。

福島 本町には15本の県河川があるが、堤体の雑草刈払いや、河川内の雑竹木等の除去対策については、強くその対応をせまらぬ限り、県は財政難を理由に放置する傾向にある。また川内川の抜本的改修が進めば進むほど、支流である県河川の河床が下がり堤防決壊等重大な災害につながることも予想される。堤体の刈払いの放置は農業用排水施設の管理にも大きな支障をきたしている。定期的な堤体刈払等維持管理の実施と災害を未然に防ぐための河床低下対策等を強く県に求めるべきと思うが、町長の見解を伺う。

町長 県河川の通常の管理は、管理者自ら現状の把握に努め災害を未然に防止するための対策を講ずるべきと考えます。今後も河川の適正な管理が行われるように強く要請いたします。



下掛け水車方式の小水力発電システム概要図



雑草が排水路にかぶさる桶寄川堤防



上水流 功 議員

4名が

町 政

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を 何らかの形で実現できればと思っている

上水流

少子・高齢化の時代、少ない子どもも高齢者も手厚い福祉の対象にしなければなりません。

そこで、高齢者の福祉の充実という点から、高齢者が肺炎球菌ワクチン接種を実施するときは、公費助成をする考えはなにか伺う。

町長

肺炎による死亡者は、年間8万人に達し、日本人の死亡率の第4位となっています。

特に高齢者については、年齢が増すにつれて急激に増加し、その肺炎の約半数は肺炎球菌が原因とされています。

肺炎球菌ワクチン接種は、現在任意接種であり、接種するかどうかは各自の判断で行うことになっていますので、本町では公費助成はしていません。県内では、奄美市を含む離島6市町で公費助成が行われていますので、今

後、国や県内の動向を見ながら検討してまいります。

上水流

本町の年齢別人口統計によると、今後5〜10年後は高齢者が一挙に増える状況にあり、その人達が、その時安心できる体制を今うちに作っておくべきである。

財政難という問題、これはどこの自治体も同じで、要はやる気と工夫の問題と考えるがどうか。

町長

質問の内容は十分理解します。時間がかかると思いますが、行政と医療現場と連絡を取りながら検討します。命に関わることでですので、何らかの形で実現できればと思っております。

名木・古木等緑の文化財保全について

上水流

わが町の名木・古木等緑の把握状況と次の世代に引き継ぐための施策・事業について、町長・教育委員長の考えを伺う。

町長

重要性和趣旨は十分理解しております。このことについては教育委員会に指示しております。

教育長

本町では、ヒガシウブ自生南限地が指定されています。郷土研究会誌や「吉松の植物たち」という図鑑もあります。

本年度は、町内巨木・名木等調査を行い、地域の景観形成・学校教育・一般教養講座等での活用方法を検討したいと思います。



川添原生林のタブの木 幹周り6.4m



森山 マスミ 議員

我町の危機管理対策について

自主防災組織の強化を図る

森山 東日本大震災、大水害と年々災害も大規模化している。災害から身を守る為、住民の防災意識が必要である。自主防災組織の研修を受けた区長は、地域ごとに組織を確立されているが、その実態、活動はどうなっているのか。機能させる為どのような手立てを町はしておられるのか伺う。

え町においても鋭意努力されているが、想定には常に最悪を考え設定し万全をきすべきと考える。今後の具体的対策は何に重点をおかれるのか伺う。

町長 豪雨災害後、永年の懸案事項であった阿波井堰改修が23年度より着工されます。冠水被害軽減対策検討協議会を設置し、避難体制整備、被害軽減対策など検討調整しています。

森山 全人口の3割弱を占める要援護者に対し避難誘導を行う体制、又自主防災組織との連携が重要となると思うか。どのように進められるか。

町長 自主防災組織及び防災関係機関と情報の共有を図り、災害において要援護者を地域支援者との連携、避難指示及び救助体制を図ります。

教育長 安全指導の徹底を図る避難対策は各学校、大雨等の場面を想定し集団下校訓練を行い、危機管理マニュアルを作成し全職員で共通理解を図り、訓練させていただきます。

森山 夏場の水難事故から、子ども達を守る為、危険箇所を子ども、親、教師と一緒に見

教育長 危険箇所を把握し、その後、皆で協議し必要な所に看板等を設置し見回り指導します。

森山 平成18年度の大

水害の経験を踏ま

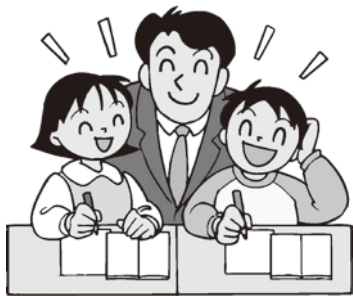


栗野小学校（集団下校訓練）



篠原 三千人 議員

町内の小中学校にNIEを 実践校の成果など紹介して行きたい



篠原 新聞社と教育の連携NIEの参加校が増えているが、NIEの目的や効果を教育委員長に伺う。

教育長 NIEは「ニューエデュケーション」の略で「教育に新聞を」と訳され、目的は複数の新聞を読み比べ、多面的な見方・考え方を見につけ、社会への関心を高めることです。効果として、①日常の学習に必要な基礎

的知識が見につきやすく、読み書きなど自ずと向上します。②自分で興味ある記事を見つけ、友達などに紹介することで、調べる態度や発表力、思考力、判断力がつくなど考えられます。



篠原 町内の小中学校にNIEをモデル的に取り入れる考えはないか伺う。

教育長 町内の学校では新聞記事の切り抜きや感想を書いたり、NIEの趣旨を理解して、

それぞれの学級で取り組んでいることがわかります。県内外の実践校の成果など紹介して行きたいと考えています。

篠原 学校は総合学習、人生は生涯学習。(週刊子どもニュースから学べるニュースで人気の池上彰さんや政治哲学者のサンデル教授の公開講座の示唆を踏まえ)生涯学習の中でNIEを取り入れた講座もしくは活用策を考える必要はないか伺う。

町長 新聞の生涯学習への活用は大切なことだと思えます。行政事務はもちろん、私自身の日常生活を見る第三者の目というものがいかに大切かを新聞記事を通して学んでいます。今までも、色々な記事を切り抜き、思考や判断に活用してきました。記者の目には多くの示唆を感じ、自分の生涯学習に役立たせて

頂いています。

教育長 「新聞読み聞かせ」や「親子で情報キャッチボール」の事例もあり、家庭教育学級で取り組むことはできないか情報提供など行ってまいります。また、一般住民向け教養講座としての住民ニーズがあるのか、講師の確保は出来るのか、など課題もあり総合的に検討する必要があると考えています。



こんなことが 決まりました

議案		提案理由等	結果
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について	平成22年度湧水町一般会計補正予算の第8号及び第9号で議決された繰越明許費を平成23年度に繰り越したので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告するもの。 (繰越した事業…26事業 4億4,482万円)	-
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (湧水町税条例の一部を改正する条例の制定について)	東日本大震災の被災者等の負担の軽減を図るため、地方税法の特例措置等を講じるために改正を行ったものを専決処分したので、これを報告し、承認を求めるもの。	承認
議案第36号	財産の取得について	町道維持補修用低公害車導入事業により、公用車4tローダダンプ1台を取得したいため、地方自治法96条第1項第8号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第37号	財産の無償貸付について	昭和54年度農林業同和対策事業により設置し、平成18年7月に譲渡した施設の土地を、関係者で組織する西永山地区共同利用組合に無償貸付の更新をし、農業の振興と経営の安定を図ろうとするもの。	原案可決
議案第38号	財産の無償貸付について	町有地を、関係者で組織する川添牧野組合に無償貸付の更新をし、採草放牧用地として活用することにより、畜産の振興と経営の安定を図ろうとするもの。	原案可決
議案第39号	湧水町過疎地域自立促進計画の変更について	平成22年度に策定した湧水町過疎地域自立促進計画について、事業内容を追加し、計画を変更しようとするもの。 (追加した事業…4事業)	原案可決
議案第40号	湧水町物産館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	本町の物産館の設置及び管理に関し、条例上の規制を緩和し、物産等の供給拠点としての位置づけを明確化するとともに、指定管理者が幅広い物産販売、安定的な経営を展開できるようにするため、所要の改正をしようとするもの。	原案可決
議案第41号	平成23年度湧水町一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5,627万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ74億5,308万6,000円とするもの。	原案可決
議案第42号	工事請負契約の締結について	公営第2上場団地新築工事についての工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。 P 6 参照	原案可決
議案第43号	工事請負契約の締結について	公営第2幸田団地新築工事についての工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。 P 6 参照	原案可決
議案第44号	工事請負契約の締結について	幸田小学校教室棟改築工事についての工事請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び湧水町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。 P 6 参照	原案可決
議案第45号	平成23年度湧水町一般会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,890万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ74億8,199万円とするもの。	原案可決
陳情第3号	町道八所線の改修に関する陳情書	P 7 参照	採択
陳情第4号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について	P 7 参照	採択
発議第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について	P 7 参照	原案可決

水害のない安心して住めるまちへ

水害対策調査特別委員会

第2回定例会において、委員の任期満了に伴い、新しく委員が選任されました。委員は、議長を除く11人で、委員長に福島議員、副委員長に森山議員が選任されました。

平成23年第2回定例会において、水害対策調査特別委員会に選任されました。今回で3期目ですが、湧水町民悲願の阿波井堰改築がいよいよ着工の運びとなりましたが、今後も残された課題に取り組んで参りたいと思います。

水害対策調査特別委員長

福島 勝男

湧水町農業委員会委員の議会推薦

平成23年6月30日の本会議において4名の方を推薦しました。



重村 耕一郎 氏



福寿 光男 氏



川野 早男 氏



平谷 元一 氏

議会広報編集委員会



委員の任期（2年）満了に伴い、新しく広報委員に選任されました。町民みなさんに親しまれる広報を目指して参りますので、よろしくお願ひします。

湧水町議会の動静 (平成23年4月～6月)

4月	1日	金	・年度始め式 ・春季勝栗神社例祭	
	2日	土	・町ゲートボール協会総会 ・北方地区総代会 ・町グラウンド・ゴルフ協会総会 ・円乗寺保育園入園・進級式	
			・長谷自治会花見(畜産祭) ・小屋敷自治会花見・敬老会	
	3日	日	・町グラウンド・ゴルフ協会春季交歓大会	
	5日	火	・各小中学校入学式	
	6日	水	・町老人クラブ連合会総会 ・町内幼稚園入園式	
	7日	木	・町馬頭観世音祭	
	8日	金	・町酪農部会総会	
	11日	月	・町子ども発達支援センターみのり入園式 ・町野菜振興会総会	
	12日	火	・議会運営委員会 ・議員全員協議会	
	13日	水	・米永地区総会	
	14日	木	・JAあいら水稲部会総会 ・第1回自治会会長会	
	15日	金	・くりの高原ランニング	
	17日	日	・たばこ振興会総会	
	18日	月	・JAあいら年金利用者友の会栗野支部総会※20日まで	
	19日	火	・議会運営委員会 ・始良地域春季畜産共進会	
	20日	水	・JAあいら年金利用者友の会吉松支部総会 ・町身体障害者福祉協議会定期総会	
	21日	木	・議員全員協議会 ・第2回議会臨時会 ・教職員宣誓式	
	22日	金	・つつはの郷土研究会定期総会	
23日	土	・始良市誕生一周年記念式典 ・平成23年度福岡栗野会総会		
24日	日	・自衛隊協力会理事会		
26日	火	・第3回始良・伊佐地域消防広域化運営協議会		
27日	水	・平成23年度県政説明会		
28日	木	・町和牛改良組合総会		
5月	2日	月	・幸田小学校春季大運動会	
	8日	日	・東北大震災救援物資出発式 ・自衛隊協力会総代会 ・議員全員協議会 ・各常任委員会	
	9日	月	・県議長会常任委員研修会 ・竹中池湧水有機生産組合総会	
	10日	火		
5月	11日	水	・町奨学生選考委員会	
	12日	木	・土地開発公社監査 ・町青少年育成町民会議役員会	
	13日	金	・環霧島会議	
	15日	日	・関西栗野会総会※16日まで	
	16日	月	・始良・伊佐地域消防広域化運営協議会 先進地視察	
	17日	火	・全国町村議長研修会※18日まで ・大口卸売市場管理組合 臨時議会	
	19日	木	・土地開発公社理事會 ・川内川河川上流期成会監査 ・国際交流協会総会	
	20日	金	・町商工会総会	
	23日	月	・たばこ乾燥火入れ式	
	24日	火	・平成23年度第1回社会福祉協議会評議員会 ・総務常任委員会	
	25日	水	・九州治水期成同盟連合会定期総会※26日まで	
	27日	金	・原水禁九州横断(始良伊佐地区)平和行進	
	28日	土	・社団法人湧水町シルバー人材センター通常総会	
	30日	月	・総務常任委員会 ・青少年育成町民会議総会	
	31日	火	・県際広域バス対策協議会総会	
	6月	1日	水	・平成23年度秋まつり第1回実行委員会
		3日	金	・議会運営委員会
		6日	月	・町農業農村推進協議会総会 ・町水田農業推進協議会総会
		8日	水	・議会広報編集委員会※7月28日まで
9日		木	・にごり防止対策連絡会総会	
12日		日	・中部栗野会総会※13日まで	
14日		火	・議会運営委員会	
16日		木	・議員全員協議会 ・平成23年第2回議会定例会	
17日		金	・第2回議会定例会(本会議) ・常任委員会※20日まで	
19日		日	・関東栗野会総会※20日まで	
22日		水	・議会運営委員会 ・議員全員協議会	
24日		金	・平成23年度第1回町人権同和教育推進協議会及び町人権同和教育基礎講座	
27日		月	・議会運営委員会 ・議員全員協議会	
28日		火	・本会議	
30日	木	・議員全員協議会 ・第2回議会定例会(最終本会議)		

傍聴にお越しく下さい。

次の定例会は9月上旬予定

編集後記

今回の議会だよりにつきましては、議会報告会に伴い9月発行となりましたことをお詫び申し上げます。

議会だよりでは、議会の出来事を簡単明瞭に町民の皆さんにお知らせしたいと思っておりますが、紙面の関係で審議結果だけのお知らせの場合もあります。また、一般質問においても要約した一部だけしか掲載できませんが、会議録によって、内容を詳しく知ることが出来ます。

編集様式も、やや安定してきたところですが、まだまだ不十分な点もあると思っております。議会への要望も含め皆様の御一報をお待ちしております。

議会広報編集委員会

委員長 飯屋良二
副委員長 境田 公明
委員 綾織まち子
同 宮里 廣昭
同 森山マズミ
同 篠原三千人

